

プラド美術館展 — スペイン宮廷 美への情熱

見どころガイド



スペイン王室が情熱をかけて集めた美術品を多く所蔵する、スペインのプラド美術館。本展の出品作品の中から、「エデンの園」が描かれた作品を紹介いたします。

ここはどんなところ？何が描かれている？

たくさんの動物たち、鳥たち

どんな生き物がいる？それぞれどんな色をしている？
多くは「つがい」(夫婦)で描かれています。

手前の景色と奥に広がる景色

手前には草花や泉。左奥にも水辺があり、遠くには森や丘が広がっています。どんなお天気でしょう。

果実が実り、花が咲く木々

どんな果物や花かな？
この場所はどんなにおいがるでしょう。



水辺の白い動物。どんな姿をしているかよく見てみよう。

※この動物の説明は、右下にあります。



この中で唯一の人間の2人。左が男性のアダム。右が女性のイヴ。イヴは果実を手に持っています。



蛇がイヴに近づいています。何と言っているか想像してみよう。

「エデンの園」は、旧約聖書の『創世記』に登場する楽園。『創世記』によると、神は7日間の世界を創り、最初の人間である男性のアダムと、女性のイヴを創造します。2人が置かれた「エデンの園」には、あらゆる草木、生き物も創られ、神は2人に「エデンの園のどの果実を食べても良いが、『善悪の知識の木』の果実だけは食べてはいけない」と伝えます。しかし、蛇がイヴに「善悪の知識の木」の果実を食べるようにそのかします。

※大人の方へ 本ガイドは、小・中学生を主な対象にしています。作品をよく観て、想像してみることを通して、鑑賞をより楽しむきっかけにしたいと考えています。展示室やご自宅で、作品についてご家族で会話を楽しみ、体験を深めていただければ幸いです。

※一角獣(ユニコーン)… 白い馬の姿で額の中央に1本の角を持つ伝説の動物